

2025.2.1

議会だより No. 75



第4回定例会の採決(12月11日・関連記事16ページ)



採決中のイメージ画像



スマートフォン等でも視聴可能

今月の表紙

電子採決システムを導入

- 決算審査特別委員会審査報告 p2~3
- 審議結果一覧(第4回定例会) p3~4
- 常任委員会審査報告 p5
- 一般質問(第4回定例会) p6~14
- 請願・陳情ってなんだろう? p14
- 山武市議会活動レポート p15



山武市マスコットキャラクター SUNムシくん



令和5年度会計決算を集中審議

令和6年第3回定例会において、委員会が設置され、閉会中の継続審査とされていた「令和5年度各会計歳入歳出決算」を審査するため、10月2日・3日の2日間にわたり、決算審査特別委員会を開催しました。

委員会では、適正に予算が執行されているかなどを確認しながら、慎重審議した結果、付託された議案7件はすべて原案のとおり認定すべきもの（議案第15号～第18号は賛成多数、議案第19号～第21号は全員賛成）と決しました。

■決算審査特別委員会

- 委員長 萩原 善和
- 副委員長 深沢 誠
- 委員 並木 幹男、小川 一馬、
櫻田 基介、杉山 清、
今川 和弘



委員長報告



執行部の説明

■令和5年度決算の概要

会計名【議案番号】			決算額		差引額
一般会計【第15号】			歳入	245億9264万円	12億6287万円
			歳出	233億2977万円	
特別会計	国民健康保険【第16号】	事業勘定	歳入	64億9680万円	2488万円
			歳出	64億7192万円	
		直営診療施設勘定	歳入	7292万円	1071万円
			歳出	6221万円	
		後期高齢者医療【第17号】	歳入	6億9473万円	161万円
			歳出	6億9312万円	
	介護保険【第18号】	歳入	50億9164万円	6905万円	
		歳出	50億2259万円		
	地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理【第19号】	歳入	17億7297万円	0円	
		歳出	17億7297万円		
	農業集落排水事業【第20号】	歳入	2億8154万円	1091万円	
		歳出	2億7063万円		
公営企業会計	水道事業【第21号】	収益的収入	3億4662万円	/	
		収益的支出	3億3653万円		
		資本的収入	607万円		
		資本的支出	2億1491万円		

決算の要旨は、広報さんむ2月号(14～15ページ)をご覧ください。
 広報さんむ >>>



質 疑 要 約

こども園施設整備事業(民生費)

Q 当該事業で実施した修繕の内容は。

A 大規模工事として、なんごうこども園・おひらこども園のトイレ改修を行いました。そのほか、なるとうこども園の0歳児教室等の照明器具設置、しらはたこども園の0・1歳児教室の畳交換、なんごうこども園のプール用シャワーの修繕、まつおこども園の3歳児教室の窓ガラス修繕、おひらこども園の門扉の塗装修繕等を実施しており、令和5年度に行った修繕・工事の総数は113件です。

エコミックガーデニング推進事業(商工費)

Q 予算額約263万円に対し、予算執行率が76%、約60万円の不用額が生じた理由は。

A 当該事業で補助金を助成している「さんむエコミックガーデニング推進協議会」で計画していた視察研修が降雪により中止となったことが、主な要因です。

また、日頃の活動でも、会員の皆さまが創意工夫のもと経費の節減を心がけて活動していることが支出抑制につながったものと考えます。

さんぶの森公園グリーンタワー外壁等改修事業(教育費)

Q 予算執行した施設整備工事費308万円の概要および今後の維持管理計画は。

A タワー設置の外階段や手すり等のサビによる飛散対策のため、タワー周りへの仮囲いの設置工事費用として支出したものです。

現在、グリーンタワーを防災行政無線の中継基地として活用していることから、その移転等までの間は、必要最低限の補修をしていきます。

経営所得安定対策推進事業(農林水産業費)

Q 決算状況の財源内訳において、「県費」の財源が前年度よりも減額となった理由は。

A 主食用米から飼料用米への、いわゆる転作に取り組む農業者へ補助金を助成しており、そのうちの県単独で実施する補助金の交付対象作付け面積が減少したことが、主な要因です。

宅地耐震化推進事業(土木費)

Q 市内の大規模盛土造成地2か所のボーリング調査等が実施されたとのことですが、その対象地区は。

A 市内7か所を令和5年度から3か年で調査を行っていくことを計画しており、令和5年度は埴谷地区2か所の調査が完了しました。

令和6年度は木原地区・大木地区の2か所を、令和7年度は木原地区・美杉野1丁目地区・富士見台地区の3か所を予定しています。

国民健康保険財政調整基金

Q 年度末現在高が約6億6104万円まで減少(前年度は約8億7546万円)していますが、今後の基金の運用は。

A 将来的に保険料水準が県下統一されることが決定しており、県内でも低い水準である山武市の国保税は、今後、引き上げざるを得ない状況が予想されますが、国保税の急激な上昇を避けるため、基金を活用しながら段階的に税率を調整していきたいと考えます。

引き続き、決算剰余金の状況に応じて積立てを行い、基金残高に不足が生じる場合には、一般会計からの支援を想定しています。



令和5年度 各会計決算議案の審議結果

令和6年第4回定例会の最終日(12月11日)、決算審査特別委員会委員長からの審査報告の後、質疑・討論を経て、採決が行われた結果、それぞれ原案のとおり認定されました。

議案 番号	議案 内容	議員名																		
		櫻田基介	小川善郎	北田守	渡邊聡	杉山清	鈴木健太郎	石川和久	萩原善和	小山和典	渡邊健一	今川和弘	深沢誠	市川陽子	長谷部竜作	池田久馬	小川一馬	玉置美津恵	並木幹男	
議案第15号	認定 令和5年度山武市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第16号	認定 令和5年度山武市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第17号	認定 令和5年度山武市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第18号	認定 令和5年度山武市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第19号	認定 令和5年度山武市地方独立行政法人さんむ医療センター公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	認定 令和5年度山武市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	認定 令和5年度山武市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【○】賛成・【×】反対・【-】北田守議長は採決に加わりません

令和6年第4回定例会 審議結果一覧

第4回定例会が、11月20日から12月11日まで22日間の会期で開かれました。
市長から諮問3件、議案18件および報告2件の提出があり、採決の結果、それぞれ原案のとおり承認・可決されました。
また、陳情1件は採択されました。

会派等	議員名	新		政		会		誠		和		公		明		知		S		日			
		櫻	小	北	渡	杉	石	萩	小	渡	深	市	長	池	玉	並	田	川	山	木	置	木	
議員名	議員名	田	川	田	邊	山	川	原	山	邊	川	川	谷	田	川	山	木	置	木	置	木		
諮問第1号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 並木 友吉 氏（椎崎）																				適任と認める	
諮問第2号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 太田 晴夫 氏（松尾町蕪木）																				適任と認める	
諮問第3号	適任と認める	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の候補者として法務大臣に推薦するため、議会の意見を求めるもの 土屋 淳子 氏（松尾町八田）																				適任と認める	
議案第1号	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第2号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第3号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第4号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第5号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第6号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第7号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第8号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第9号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第10号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第11号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第12号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第13号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第14号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第15号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第16号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第17号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第18号	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告第1号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）																				報告のみ（採決なし）	
報告第2号	報告	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）																					
陳情第5号	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【○】賛成・【×】反対・【-】北田守議長は採決に加わりません

常任委員会審査報告

市議会には、総務・文教厚生・経済建設の3つの常任委員会が設置されており、本会議で審査を付託された議案等について、それぞれ専門的に審査を行い、採決した結果を本会議に報告します。

委員会	審議結果	主な質疑・審査要約
<p>総務 常任委員会 (12月3日開催)</p>	<p>【原案可決】 議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第9号 議案第14号 議案第15号の一部 議案第16号の一部</p> <p>【採 択】 陳情第5号</p>	<p>防災施設維持管理事業について（議案第15号）</p> <p>問 篤志家からの寄附を活用して防災業務用貨物自動車を購入するための予算補正とのことだが、購入予定車両の仕様は。</p> <p>答 災害時の用途であるため、荷台部分は箱型のアルミバンとし、雨天の際の運搬・運行も可能となる仕様を計画しています。</p> <p>また、誰にでも扱いが可能となるよう、普通免許で運転できる積載量かつオートマチック型の車両とする予定です。</p> <p>政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情（陳情第5号）</p> <p>山武市における実態を把握するため、まずは、職員アンケート等を実施した方がいいと考える。</p>
<p>文教厚生 常任委員会 (12月4日開催)</p>	<p>【原案可決】 議案第2号 議案第7号 議案第8号 議案第10号 議案第13号 議案第15号の一部 議案第16号の一部 議案第17号</p>	<p>学校教育振興基金条例の制定について（議案第2号）</p> <p>問 教育関係の基金として、すでに設置されている『教育施設等整備基金』での運用ではなく、新たな基金を設置する理由は。</p> <p>答 『教育施設等整備基金』は、主に教育関連施設や設備にかかる整備、いわゆるハード面の事業への財源充当を想定しており、『学校教育振興基金』は、児童生徒が使用する一人一台端末や、それに付随するアプリケーションの更新等、学校教育の振興、いわゆるソフト面の事業への財源充当を設置目的としています。</p> <p>さんぶの森元気館の指定管理者の指定について（議案第10号）</p> <p>問 当該指定期間の3年間で、施設の今後のあり方を検討することのことだが、検討のうえ、いずれかの結論を出すとの認識でよいか。</p> <p>答 そのように考えています。</p>
<p>経済建設 常任委員会 (12月5日開催)</p>	<p>【原案可決】 議案第11号 議案第12号 議案第15号の一部 議案第18号</p>	<p>道路維持補修事業について（議案第15号）</p> <p>問 機械借上料から道路管理委託料へ420万円の予算を組み替えとする補正理由は。</p> <p>答 道路管理委託料は、道路脇の除草や側溝清掃等、各地域からの要望増加や労務単価上昇により予算に不足が生じたため、増額補正を要求するものです。</p> <p>減額補正する機械借上料は、地域住民等による清掃活動用の機械貸し出し件数が減少していることや、市が実施する建設工事での機械借り上げ（単価契約）を廃止したこと等から、執行残が見込まれるため、組み替えを行うものです。</p> <p>水道事業会計補正予算について（議案第18号）</p> <p>問 債務負担行為補正とする『山武浄水場水道水水質検査業務』の検査項目には、今、全国的にも問題となっているPFOSに関する検査は含まれているのか。</p> <p>答 検査項目に含まれており、水質検査は年4回実施する予定です。</p>

12月定例会 一般質問

市政を問う！

一般質問とは、議員が、市の事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を市長などに求め、市が適切な市政運営を進めているか、チェックするものです。

山武市議会では、議員は年4回の定例会で一般質問することができ、質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域の住民生活に密接している事項など、多岐にわたります。

なお、議会だよりの一般質問に関するページは、質問した議員が自ら原稿を作成し、掲載しています。

※今回の12月定例会の会議録は、図書館またはインターネットでご覧いただけます。(3月下旬発行予定)

議会中継へ簡単アクセス

より気軽に視聴することができるよう、一般質問の掲載ページに、録画映像が視聴できるQRコードを添付しています。



スマートフォンやタブレットでご覧ください。

p7 個人質問 誠和会 萩原 善和

- ①過疎指定を受けて
- ②成田空港について

p7 個人質問 誠和会 小山 和典

- ①小松地先市有地について
- ②公共施設の統廃合について
- ③ふるさと納税について
- ④学校給食について

p8 個人質問 誠和会 渡邊 健一

- ①さんむ医療センター救急対応について
- ②防災について

p8 個人質問 誠和会 今川 和弘

- ①小中学校の統廃合について
- ②消防防災について
- ③高齢者支援について

p9 個人質問 SAMMU知新 小川 一馬

- ①地域振興構想について
- ②小松地先市有地残土問題について
- ③日向の森について

p9 個人質問 SAMMU知新 玉置美津恵

- ①小松地先市有地残土問題について
- ②豪雨対策について
- ③空き家対策について

p10 個人質問 SAMMU知新 池田 久和

- ①不登校への対応について
- ②観光客受入環境整備について

p10 個人質問 新政会 櫻田 基介

- ①マイナンバーカードについて
- ②中小企業利子補給事業について

p11 個人質問 新政会 渡邊 聡

- ①成田空港の更なる機能強化に向けた地域振興について
- ②墓地埋葬等に関する条例について
- ③市の河川管理について

p11 個人質問 新政会 杉山 清

- ①市内鉄道各駅にかかる整備について
- ②感染症対策について

p12 個人質問 新政会 鈴木健太郎

- ①令和6年度の財政運営について
- ②住民サービスや庁内業務へのAI活用状況について
- ③小中学生への交通ルールの周知について
- ④地区の公民館・コミュニティセンターの運用について

p12 個人質問 公明党 長谷部竜作

- ①まちづくりについて

p13 個人質問 公明党 深沢 誠

- ①有機農業推進対策について
- ②木質バイオマス燃料利用促進対策について
- ③公共交通活性化対策について
- ④地域活性化対策について
- ⑤衆議院議員総選挙投票事務について

p13 個人質問 公明党 市川 陽子

- ①防災・減災対策について
- ②マイナンバーカードについて
- ③がん対策について

p14 個人質問 日本共産党 並木 幹男

- ①教育行政について
- ②環境問題について
- ③医療施策について
- ④マイナンバーカードについて

※上記には「一般質問通告書」の内容を記載しています。



はぎわら よしかず
誠和会 萩原 善和 議員

松尾にぎわい処の再構築

問 洗心館のうち「にぎわい処」の利活用については、さまざまな検討がされつつも、月日ばかりが経過していきます。そこで、当初の設置目的とした賑わい創出としてではなく、松尾出張所移転を含め、市が直面する施設の老朽化に伴う公共施設の再配置に役立てることを提案しますが、見解を伺います。

答 市長 にぎわい処を行政機能施設とすることで、現在、市が抱えている施設再配置等の課題が解決に向けて大きく前進する可能性があると思います。これまでの検討経緯や、市全体および松尾地域に特化した考え方を、一度整理したうえで結論を出していきたいと考えます。

松尾駅周辺未利用地の利活用

問 JR松尾駅前駐車場跡地および国道126号北側に位置する保健所跡地の利活用について伺います。

答 総合政策部長 駅前駐車場は、令和5年度末の廃止以降、民間企業での利活用の可能性を探るため、サウンディング型市場調査の手法により、広く話を伺っています。現段階では、具体的な提案には至っていませんが、引き続き検討を行ってまいります。

答 総務部長 保健所跡地は、普通財産として管理しています。地域住民等から利用の申し出があった場合には、短期間の貸付けをしていますが、今後も行政目的での利用が見込めない場合は売却に向けた準備をしてまいります。

航空機騒音による防音対策事業

問 令和2年4月、いわゆる騒防法で規定する第一種区域が拡大されたことにより、空港会社の実施する防音工事費用助成の対象件数が大幅に増加しました。しかし、設計会社の不足等により、工事着手までに時間を要している案件が見受けられていましたが、現在の状況を伺います。

答 総合政策部長 空港会社に確認したところ、令和6年5月から、同一会社による設計監理と工事施工を可能と変更したほか、事務手続きの簡素化(印鑑証明書の添付不要、図面・積算等の提出書類の削減等)など業務効率化し、対応していると聞いています。防音工事早期化に向け、市としても連携して取り組んでいきます。



こやま かずのり
誠和会 小山 和典 議員

小松地先市有地について

問 残土問題にかかる調査の進捗状況および今後の計画を伺います。

答 建設環境部長 土砂発生元事業者から23か所中19か所の関係書類が提出された結果、搬入された土砂は発生元で土壌改良された土砂が混在しているものと考えます。また、汚泥として搬出されたものは産業廃棄物として適正に処理されたことを確認しており、小松地先への搬入はないものと考えます。今後の計画等については、土砂の処分や保安林に配慮した跡地活用を検討し、早期の調査完了に努めます。

問 現在の管理状況を伺います。

答 建設環境部長 住環境の安全のため実施している草刈り、測量、水质調査、排水対策、監視カメラの設置は完了しており、土壌調査は現在執行中です。飛散防止対策は、令和5年度の防止剤散布後は大量に飛散しているとの情報がなく、令和6年度は実施見

公共施設の統廃合について

問 集約化や統廃合に向けた具体的な方針について、また市民等の意見を取り入れる機会はあるのか伺います。

答 総務部長 市民文化系施設として、成東中央公民館、さんぶの森中央会館、農村環境改善センターの3施設は複合化・集約化、のぎくプラザとさんぶの森文化ホールは2施設は集約化、スポーツ・レクリエーション施設として、松尾運動公園と白幡体育館は建て替え時期に集約化を、それぞれ検討してまいります。

また、これらの方針を踏まえ、市民等の意見を取り入れられるよう、外部評価委員会に諮りながら検討を進めてまいります。

問 適正配置を推進した結果、将来的に維持管理費はどの程度削減できるものと見込んでいるのか伺います。

答 総務部長 市が保有する建築物系公共施設に対して長寿命化対策を実施した場合、40年間で39.9億円(年平均約9億9000万円)の削減効果が試算されており、適正配置により、さらに削減が期待できます。

【その他の質問】ふるさとさんむ応援寄附金の受入・活用状況▼オーガニック給食推進事業の実施へ向けた寄附金の活用▼学校給食等への地場産物の活用

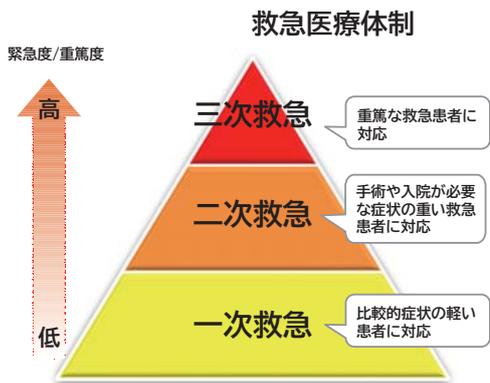
送りとしました。



さんむ医療センター救急対応

問 救急車を要請しても、受け入れ先の医療機関が見つからずに搬送できない事例があるようですが、搬送先を指名することは可能か伺います。

答 総務部長 山武郡市広域行政組合消防本部に確認したところ、特定の医療機関を指名することは原則できません。救急隊は傷病者の全身状態を総合的に判断して、受け入れ可能な一



次、二次、三次医療機関を選定します。

問 さんむ医療センターは二次救急医療機関であり、山武郡市病院群輪番制に参加しているとのことですが、その仕組みを伺います。

答 保健福祉部長 救急車により直接搬送されてくる救急患者に対応するため、郡内6病院が夜間に対応できるように、日を決めて順番に担当する制度です。

問 市民の安心のため、さんむ医療センターで24時間救急対応を望む声がありますが、見解を伺います。

答 保健福祉部長 人員確保の点などから輪番制としており、定期的な夜間の救急は受けていますが、毎日の対応は難しい状況です。休日当番医(広報さんむ掲載)や東金市にある山武郡市急病診療所への受診をお願いします。

問 安定経営を継続していくための医師は確保できているのか伺います。

答 保健福祉部長 地方独立行政法人さんむ医療センター中期計画および年度計画において、医師数42名を目標としているところ、現在、46名の正職員が在籍しており、充足しているものと判断しています。

医師偏在における状況下で中長期的で安定した医師確保を行うため、関連病院との研修医・専攻医の連携、千葉大学各医局との関係維持や強化を含め、今後も安定的な医師の確保に努めます。



消防団員の負担軽減

問 山武市消防団の火災等への出勤について、1年間あたりの平均出勤回数を伺います。

答 総務部長 市全体の、過去5年間における消防団各部の火災等への平均出勤回数は、年間約10回です。

問 火災等への出勤以外の、消防団員の年間の主な行事等およびその活動日数を伺います。

答 総務部長 市の消防団行事等による活動日数は、年間12日程度ですが、そのほかにも、消防団各部による水利点検や操法大会の自主訓練、地元地区からの要請による行事等への参加など、活動は多岐にわたっています。

【市の主な消防団事業】

- ①訓練
 - ・部長訓練
 - ・チェーンソー訓練
 - ・初任者訓練
 - ・地区ごとの中継訓練
 - ・操法合同訓練
- ②警戒活動
 - ・年2回の管内警ら(火災予防)
 - ・歳末警戒
- ③行事
 - ・出初式
 - ・操法大会

問 団員の皆さんは、本業を別に持ちつつ、少なくとも年間40日以上消防団活動をしていただいています。また、近年、災害が激甚化・多発化する中で、消防団は地域の安心安全を守るため、重要な役割を担っている一方、団員数は減少傾向にあり、団員の負担はますます大きくなっています。近隣自治体では、出初式を表彰式典のみとしている事例もあるようです。本市においても、各種行事の見直し等による消防団員の負担軽減を提案しますが、市長の見解を伺います。

答 市長 消防団員の皆さまには、火災等への出勤だけではなく、行事等への参加、水利の点検など多岐にわたる活動していただいています。

一方で、操法大会や形式的行事への参加が消防団員の負担となっており、といった声があることも認識しています。消防団員の成り手が減少している中で、持続可能な消防団組織の構築のためには、消防団員の負担軽減は必要なことだと考えます。

消防団の行事のあり方や、火災・災害時に安全かつ迅速に活動するための実践的な訓練の実施など、今後の消防団活動の方向性について、消防団本部で検討していただくようお願いしていきます。





おがわ かずま
SAMMU知新 小川 一馬 議員

地域振興構想について

問 国道126号の4車線化について今後の計画を伺います。

答 建設環境部長 東金市との行政境から約3750メートルの区間が4車線化の都市計画が決定されていますが、事業化されていない状況です。

問 成田空港の機能強化に伴う雇用の増加により、芝山はにわ道の交通渋滞が予想されますが見解を伺います。

答 建設環境部長 空港周辺市町の新たなまちづくりや、産業・生活の拠点の整備に併せて必要となる道路整備について、近隣市町および千葉県と意見交換しながら、主要地方道成田・松尾線(通称・芝山はにわ道)のさらなる整備を、県等に要望していきます。

問 飯岡一宮バイパス・木戸川橋りょうの進捗を伺います。

答 建設環境部長 飯岡一宮バイパス建設促進期成同盟会として、令和6年10月に千葉県県土整備部長へ知事宛ての要望書を手渡し、早期完成を強く要望しているところです。

宛ての要望書を手渡し、早期完成を強く要望しているところです。

小松地先市有地残土問題

問 この問題は、市のさまざまな管理体制により、これまでに多額の予算が使われています。今後は、お金がかからない残土の有効活用にて化して取り組むべきと考えますが、見解を伺います。

答 市長 現在、現場工事事業者および土砂搬入事業者を対象に調査を進めており、判定の結果、使用できるものであれば、地元住民のご意見を伺いながら、有効活用を検討していきます。

日向の森について

問 民間企業と締結している、日向の森の一部を対象とした森林の保全活動に関する協定の内容を伺います。

答 産業振興部長 平成24年10月にワタミグループが支援するNPO法入と10年間の協定を締結し、森林保全活動(植樹後の間伐・枝打ち等の保育活動、作業道整備、植樹祭の開催、生息調査等)が開始されました。その後、令和4年4月には再度協定を締結し、現在も活動が継続されています。

また、これまで手つかずのまま放置されていた森林が整備されたことで、令和5年度からは市内小中学校の森林環境学習に活用しており、環境問題への理解や動機づけに役立てています。



たまおき みつえ
SAMMU知新 玉置 美津恵 議員

小松地先市有地残土問題における今後のあり方について

問 調査の進捗状況および地質分析結果証明書23枚により何立米の調査が実施できたのか伺います。

答 建設環境部長 土砂発生元事業者13社のうち9社から土砂搬出に関する関係資料の提出があり、3社は資料不存在、1社は提出準備中です。土砂運搬業者へは、ヒアリングや中継地の現場確認を実施し、現在も調査継続中となります。

土砂発生元事業者から提出のあった19現場分の資料により、工事現場から発生した建設発生土のうち、約4500立米が搬入されたと思われます。(調査時点:令和6年11月)

問 全体土量である約5万立米とは大きく乖離しており、現在も調査確認中とのことですが、市による調査が困難ならば、土砂搬入業者を市残土条例違反として、警察に通報すべきと考え

えませんが、市の見解を伺います。
答 建設環境部長 調査継続中ではありますが、新たな土砂発生元の判明は難しいことも想定されます。残土条例に基づき「埋立てを規制している改良土なのか、安全基準に適合しない残土なのか」情報が乏しい中、土質性状等により判断していきます。千葉県警察とは、令和6年9月に本市調査状況について意見交換を実施しており、今後、警察が対応すべきことが確認された際は、改めて協議していきます。

空き家を増やさない対策

問 空き家になる可能性が高い75歳以上の単身世帯数は、2989世帯あるとのことですが、高齢者向けに配布されるエンディングノートには「住んでいる家をどうしたいのか」意思を確認できる項目があるのか伺います。

答 都市整備課長 本人の意思を記入する項目はありませんが、「家じまい」を考えていただく必要性はあると思います。

国土交通省、日本司法書士会および全国空き家対策推進協議会が共同で発行している「住まいのエンディングノート」の周知も含め、本人の意思表示の方法を検討していきます。
【その他の質問】豪雨に備えたマイタイムライン(防災行動計画)



いげだ ひさかず
SAMMU知新 池田 久和 議員

不登校への対応

問 不登校の定義は『登校しない、あるいはしたくてもできない状況で、年間30日以上欠席した児童生徒のうち病気や経済的な理由を除く』とされています。文部科学省調査によると、全国での不登校児童生徒は11年連続増加中で、令和5年度は34万6482人(前年度比4万7434人増)でした。

また、いじめ件数は小中高で73万2568人(前年度比5万6200人増)となっており大変危機的な状況です。

答 本市の不登校児童生徒数を伺います。本市では、令和4年度は小学生20人・中学生77人、令和5年度は小学生32人・中学生79人です。

問 不登校の人数とは別に、気がかりなのは、長期にわたって欠席している児童生徒数についてです。(下表参照)

増え続ける不登校児童生徒に対して、学校はどのような対策を講じているのか伺います。

か伺います。

答 教育部長 不登校児童生徒のうち多くは週に数日登校しており、学級担任や他の教職員が別室で対応するなど、個々に応じて支援しています。

学校に登校できない児童生徒には、定期的な家庭訪問を行い、学校とのつながりを保つようにはしています。

年度	小学校	中学校	合計
令和元年度	41人	57人	98人
令和2年度	32人	47人	79人
令和3年度	41人	78人	119人
令和4年度	53人	99人	152人
令和5年度	91人	125人	216人

山武市の長期欠席児童生徒数

問 多様化する不登校への課題と対策を伺います。

答 教育部長 不登校問題の難しさは、その原因が特定しにくいところにあります。多くの場合、多様な原因が複雑に絡み合っており、「児童生徒一人一人に寄り添い、丁寧に対応していく」ことに尽きると思います。その子が不登校に至った背景まで思いを巡らせ、保護者の願いも考慮しながら、個々に応じた細かな対応をしていくことが必要です。

ICTを活用した好事例も報告されており、時代の変化に合わせた可能性を広く探りながら、今後さまざまな取り組みを研究していきます。

【その他の質問】▼大高善兵衛公園の利活用▼森林環境譲与税の活用



さくらだ もとすけ
新政会 櫻田 基介 議員

マイナンバーカード

問 本市のマイナンバーカードの交付状況および更新方法を伺います。

答 市民部長 令和6年10月末日時点で、交付累計は3万9193件(交付率81.03%)です。カード自体は10年(18歳未満は5年)、電子証明書は5年を経過すると更新が必要になり、それぞれ有効期限の3か月前を目途に更新手続きの案内を通知しています。

電子証明書の更新は市役所窓口で行い、カード自体の更新は新規申請と同様にスマートフォンや郵便等で行います。

問 マイナ保険証の更新について伺います。

答 市民部長 マイナ保険証の有効期限はありませんが、マイナ保険証を持たない方に発行する資格確認書は1年の有効期限を予定しています。

問 市役所庁舎内に令和6年10月から設置した、コンビニ交付対応行政キオスク端末の運用状況を伺います。

答 市民部長 令和6年11月15日時点で合計175件の利用があり、特に、住民票と印鑑証明書の交付が多い傾向にあります。使い方が不明な場合は、職員がサポートしており、引き続き利便性の向上に努めます。

中小企業利子補給事業

問 本市中小企業運営資金利子補給制度の概要を伺います。

答 産業振興部長 中小企業者が運営資金等の調達のため、借入れをした際の利子の一部を補給する制度です。

問 令和2年度から令和5年度までの利子補給率および限度額、決定方法について伺います。

答 産業振興部長 延滞利子を除いた年利子支払額の30%以内(限度額30万円)としていますが、令和2年度から令和4年度は、急激な社会経済情勢の変化に対応するため、補給率50%(限度額30万円)として実施し、コロナ禍後の令和5年度は、補給率30%(限度額30万円)で実施しました。

問 令和6年度の利子補給率と限度額を伺います。

答 産業振興部長 無利子無担保融資の利子補給期間終了により、有利子返済が開始され、中小企業者の金利負担が増加する中、一層の支援が必要と判断し、補給率を50%(限度額30万円)として実施を予定しています。



わたなべ ことし 議員 渡邊 聡 新国会

成田空港の更なる機能強化に向けた地域振興

問 市は成田空港と密接な連携を行い、積極的な地域づくりが必要と考えますが、成田空港の目指す姿について伺います。

答 総合政策部長 「『新しい成田空港』構想とりまとめ2・0」によると、

①集約型ワンターミナル、②新貨物地区の整備、③最適アクセスの実現、④地域と空港との相互連携による一体性・持続的な発展と示されています。

また、海外空港の事例を踏まえた今後の展開のポイントの一つとして、人材確保のための生活環境・教育環境・就労環境の整備の必要性が掲げられています。

問 成田空港と地元企業との結びつきに関する事例を伺います。

答 総合政策部長 空港会社によると、周辺地域経済の活性化を目的としたプラスナリタラボ(株)を設立し、地

域産品を活用した飲食事業、物販事業、観光事業の3事業をビジネスベースとして、地元企業との相互連携を築いているとのことです。

本市とは、出国審査後エリアの店舗において市内企業と開発した飲食メニューを提供している事例があります。

問 更なる機能強化に伴う雇用創出を図るためにも、成田空港方面への道路整備は重要です。アクセス道路として期待される市道埴谷・板川線の進捗状況を伺います。

答 建設環境部長 埴谷地先と麻生新田地先の字境付近の交差点から板川消防機庫までの約2キロメートルを事業区間とし、整備が行われています。

墓地埋葬等に関する法令等

問 土葬の扱いについて伺います。

答 建設環境部長 いわゆる墓地埋葬法では禁止規定はありませんが、各自自治体の条例により土葬が規制されている場合があります。

本市では、墓地埋葬等に関する条例を制定しており、市内で土葬を目的とした新たな墓地の設置や既存墓地への土葬は禁止しています。



【その他の質問】▼河川敷の草刈りや雑木の対応▼アダプトプログラムを活用した清掃活動



すぎやま きよし 議員 杉山 清 新国会

市内鉄道各駅にかかる整備

問 日向駅南口改札の設置は検討されているのか伺います。

答 総合政策部長 近年は乗車人員が減少傾向にあり、JR側による新たな改札整備は難しい状況です。

問 日向駅および松尾駅の跨線橋に、屋根を設置できないか伺います。

答 総合政策部長 これまでもJR側に対し要望活動は行っています。駅利用者の安全性・利便性の向上を図るため、引き続き要望していきます。

問 駅周辺の利便性向上のため、日向駅付近にある第2東金街道踏切の拡幅が肝要と考えますが、見解を伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武土木事務所に確認したところ、現在、踏切拡幅の計画はないと聞いています。

日向幼稚園や日向小学校に通じる幹線道路であります。車両同士のすれ違いや歩行者に支障が出ている状況であると、市でも認識しています。

そのため、日向停車場極楽寺線の拡幅要望と併せ、踏切拡幅を千葉県へ継続して要望しています。

問 成東駅の北側開発のための道路および駅前広場の整備進捗状況を伺います。

答 都市整備課長 事業化を目指し、駅前広場を含む駅北側の将来展望を踏まえた整備ルートに変更するべく、関係機関協議を行っています。

問 成東駅前商店街の活性化のために、新たに開業する方への支援等はあるのか伺います。

答 産業振興部長 間接的にはありませんが、市内での創業を検討中の方や創業間もない方、後継者の方を対象に開催している「さんむどりム創業塾」の支援として、主催者である山武商工会へ補助金を交付しています。

問 成東駅南側周辺地区のにぎわい創出を推進するため、有志で結成されている『成東駅前あじよすつ会』の、今後の活動を伺います。

答 産業振興部長 令和6年度から、さんむエコノミックガーデンング推進協議会の中の「駅前あじよすつかわーキンググループ」として、市内JR3駅の駅前にぎわい創出等を目的とした活動を予定していると聞いています。

【その他の質問】▼ワクチン接種による健康被害の対応▼感染症予防に対する市の今後の取り組み

個人質問



新国会 鈴木 健太郎 議員

小中学生への交通ルール の周知

問 自転車の「ながら運転」などの厳罰化を盛り込んだ改正道路交通法が、令和6年11月から施行されましたが、スマートフォンとの普及に伴い、利用者の低年齢化が進んでいる中、市内の小中学生に対する周知方法を伺います。

答 教育部長 自転車の乗り方とスマートフォンを使い方という身近なことに関わる法改正を、小中学生に周知することは大切であると考えます。現在、学校では、ホームルームでの学級担任による説明や、学校だよりで保護者向けにお知らせするなどの対応を行っています。教育委員会からも各家庭へ啓発資料を送付し、家庭での指導をお願いしているところです。

問 主体的に周知する役目を果たすのは誰になるのか伺います。

答 教育部長 学校では担任が学級活動の時間に、交通安全について指

導するほか、安全教育担当者が中心となって、関係機関と協力しながら自転車交通安全教室を開催するなど、教育活動全体で取り組んでいます。

問 今回の道路交通法の改正を受けて、小学校低学年のうちから「自転車は車両であり、道路交通法を守らなければならぬ」という教育が大切になってくると思いますが、学校における安全教育の指導方法を伺います。

答 教育部長 「ながら運転」を含めた自転車の危険運転は、運転者自身だけでなく、歩行者や他の車両にも大きな危険をもたらすことから、小学生のうちから「自転車は車両である」という認識を持つことは大切です。これまで歩行者の視点での指導が中心となっていた交通安全指導に加え、自転車側の視点に立った交通ルールについても、発達段階に応じた指導を行ってまいります。



【その他の質問】▼各地区コミュニティセンター等の運営管理状況と行政の携わり方▼第3次総合計画の各計画の進捗状況▼行政サービスにおけるA-Iの利活用状況



公明党 長谷部 竜作 議員

山武地域のまちづくり

問 さんぶの森元気館の令和5年度の延べ利用者数は約15万人と、非常に優れた交流拠点として機能しています。

今後は、施設の価値をさらに高める取り組みや物価高騰に対応するための利用料金の見直し、働く世代を対象とした夜間料金の導入など、多様な料金体系の検討が必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 保健福祉部長 利用料金の見直しについては、物価の高騰や人件費の上昇もあり、理解を得やすい時期かと思われませんが、慎重に協議していきたいと考えます。

若い世代の利用者を増やすための具体策についても、今後協議を進めていきます。

また、現在市内の小学校2校がプール授業を実施しており、大変好評を得ています。季節や天候に左右されない

屋内プールの利点を最大限に活用し、他の学校へも働きかけていきます。

問 山武地域への、こども園設置が検討されているとのこと、子育て世代への訴求力を高めるには、さんぶの森公園、または、さんぶの森交流センターあらゆる館の敷地内に設置することを提案しますが、見解を伺います。

答 保健福祉部長 「公立幼稚園・私立保育園のあり方検討委員会」にて、山武地域の3つの園をこれまでどおり継続して運営するのか、または、統合により、こども園とするのかなど、さまざまな在り方について議論を深めていただく予定です。

問 少子化の影響を大きく受けている小学校について、現在の3校を統合し、山武中学校の敷地内に新たな小中一貫校を設置することで、教育環境のさらなる向上と充実を図り、教育に関心の高い子育て世代への訴求力を高めるべきと考えますが、見解を伺います。

答 教育長 小中一貫校によるメリットは承知しています。そのうえで、児童生徒にとってのより良い教育環境を第一に考え、小中一貫校のほか、義務教育学校、学校統合、本校と分校、小規模特認校、また、小中の連携や小学校間の連携など、さまざまな選択肢について、学校関係者や保護者、地域の方々との協議を重ねながら進めていきます。



ふかざわ まこと 議員
公明党 深沢 誠

有機農業推進対策

問 有機農業推進に対する市の方針を伺います。

答 市長 国の「みどりの食料システム戦略」に基づき、本市でも有機農業を農業推進の重要な方向性の一つと捉え、農協や関係団体と連携しながら取り組みを進めています。今後は、必要に応じて「オーガニックビレッジ宣言」など新たな施策も検討します。

問 有機農業を行ううえで有機物の運搬や散布など多くの労力等を要するため、これらに対する支援を検討すべきと考えますが、見解を伺います。

答 産業振興部長 令和5年度には、国の事業を活用して畜産農家への堆肥散布補助を実施しており、令和6年度は、有機農業の土づくりに関する講演会を企画し、有機農業推進や農業者同士のつながり促進を目指しています。



木質バイオマス燃料利用促進対策

問 薪ストーブやペレットストーブの煙や臭いによる近隣トラブルの防止策として、設置マニュアルの作成や具体的な審査が必要と考えますが、見解を伺います。

答 産業振興部長 近隣トラブル防止のため、環境省の「木質バイオマスストーブ環境ガイドブック」を新規補助金申請者に配布し、市ホームページにも注意事項を掲載して、周知を進めます。

公共交通活性化対策

問 山武市地域公共交通計画における基幹バスの鉄道ダイヤへの接続性向上への方向性を伺います。

答 総合政策部長 基幹バスの増便には財政負担が伴うため、現状のダイヤを維持しつつ、乗合タクシーの活用により対応しています。今後も、JRのダイヤ改正や市民の意見を踏まえながら、柔軟に対応していきます。

地域活性化対策

問 まちづくり協議会への支援の課題について、見解を伺います。

答 総務部長 地域の担い手不足は共通の課題と感じています。まちづくり協議会と連携し、人材育成等についての意見交換や活動を通じ、共に取り組んでいきます。

個人質問



いちかわ ようこ 議員
公明党 市川 陽子

防災・減災対策

問 大雨の際に、冠水の恐れのある地域には、通勤者をはじめとした日常的に道路を使用される方、また、観光などで初めて地域を訪れる方等に向け、平常時から注意喚起の看板を掲げているかどうか考えますが、見解を伺います。

答 総務部長 対象者へ事前に迂回路の選定等を促すことにつながるほか、消防団や地域住民による迂回路への誘導が開始される前に、冠水に対する注意喚起が行えるといったメリットが考えられます。今後、関係機関と協議していきます。

マイナンバーカード

問 マイナ保険証による医療DX（医療サービス）の将来を見据えると、未登録者に対する保有機会の提供は大変重要になります。

高齢者にとっては、マイナンバーカ

ードの顔認証機能が、医療機関や薬局窓口において利用できることで、暗証番号の設定や管理の負担軽減につながります。

答 市民部長 新しい制度のため、市民へ浸透するまでに多少時間はかかってしまいますが、窓口や電話対応等で丁寧な説明を続けていきます。

がん対策

問 千葉県が行う「がん患者アピアランス支援事業」とは、がん患者が治療により変化した外見を補完するために使用する、医療用補整具等の購入費助成事業となります。

これは、がん患者が負う心理的および経済的負担を軽減し、患者の社会参加や「クオリティ・オブ・ライフ、QOL、つまり生活の質」の向上を図ることを目的としていますが、本市における今後の対応を伺います。

答 市長 この助成制度は、がん治療等により容姿が変化した患者の生活の質を向上させるうえでは、非常に重要な取り組みであると考えます。

特に、医療用ウィッグの費用は高額であり、経済的な負担が大きいと聞いていますので、他自治体を参考に検討していきます。





日本共産党 並本 幹男 議員

環境問題について

問≫ ゼロカーボン宣言市として取り組む温室効果ガスCO₂の排出削減のための目標値を伺います。

答≫ 建設環境部長 現在策定中の山武市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)では、2030年度までに2013年度比で約42%削減、2050年度には、カーボンニュートラルの実現を目標としています。

問≫ この計画案での、CO₂排出削減のための具体的な取組を伺います。

答≫ 建設環境部長 「緩和策」として、①市民・事業者の意識醸成・啓発の推進、②太陽光発電設備の導入と省エネ対策の推進、③森林吸収源の保全と活用を重点優先施策としています。

「適応策」として、気候変動による影響が予想される農林水産業・外来生物・熱中症対策等に関する情報提供や防災対策を踏まえた森林整備を進めていく計画としています。

問≫ CO₂排出量を減らすためには、行政が稼働させる廃棄物処理施設からの排出量をきちんと把握し、その数値を明らかにしたうえで、CO₂削減に向けたごみ行政を実施するべきと考えます。

現在進めている山武都市環境衛生組合の新しいごみ処理施設の概要を伺います。

答≫ 建設環境部長 令和6年6月策定の基本設計では、①災害時の一時避難場所として周辺区域の支援が可能な施設、②構成市町および周辺環境の保全ならびに環境負荷の低減を図る施設、③循環型社会形成を促進する施設を基本方針に掲げています。

また、焼却により発生する熱エネルギーの有効活用や余剰電力の売電など、エネルギー回収の促進も図ることとし、令和12年4月頃の稼働開始を予定しています。

問≫ 令和5年開催のG7広島サミットを受け、国はさらなるプラスチック規制強化に取り組みしていますが、新ごみ処理施設の計画見直しについて見解を伺います。

答≫ 建設環境部長 山武都市環境衛生組合に確認したところ、新方式へ計画変更すると、平成30年度から進めてきた現計画が白紙となり、新計画を策定し直す必要があることから、現段階で見直すことは難しいと聞いています。

請願・陳情ってなんだろう？



請願・陳情とは……

国または地方公共団体に対して、さまざまな事項に関し要望する方法の一つです。請願は、憲法で保障された国民の権利の一つであり、議員の紹介を必要とするなど一定の要件がありますが、陳情はこれを必要としません。なお、請願・陳情が採択されても、その実現について法的拘束力はありませんが、市議会は最善の努力をすべき政治的・道義的責任を負うことになります。

Q 提出した請願や陳情はどうなるの？

A 請願・陳情ともに、議会運営委員会の判断のもと、審査が必要なものは常任委員会等で慎重に審査し、本会議で採否を決めます。

Q どこに、いつまでに提出すればいいの？

A 市役所3階の議会事務局で随時受付しています。山武市議会では、定例会開会日の概ね1週間前に行われる議会運営委員会の前々日の正午までに受理したものは、その定例会で審査します。それ以降に受理したものは、次回以降の定例会で審査することになります。

Q どうやって書けばいいの？

A 右記の書式例を参考に作成してください。その他手続方法等の詳細は、市議会ホームページをご確認ください。

令和 年 月 日

〇〇〇〇に関する請願書(陳情書)

山武市議会議員 〇〇〇 様

請願(陳情)者
住所
氏名 署名または記名押印 ㊟
(団体または法人の場合は代表)

紹介議員 署名または記名押印 ㊟
※ 陳情の場合は不要 ※

(内容)

1. 請願(陳情)の要旨
2. 請願(陳情)の理由

※ 簡潔明瞭にまとめてください ※

請願・陳情の書式例



請願・陳情の手続きについて

■経済建設常任委員会 行政視察



令和6年10月22日・23日に、委員6名参加のもと、視察研修を行いました。

【研修地および研修テーマ】

- ・山梨県甲斐市
「脱炭素先行地域における取組について」
- ・山梨県北杜市
「有機農業の推進について」

■新規採用職員研修&議場見学



令和6年12月13日、令和6年度入庁の職員を対象とした研修会（講師：各部局長、研修テーマ：各業務内容等）が開催され、議会事務局からは市議会の仕組みや議会事務の内容等について説明を行いました。

また、電子採決など議場の雰囲気を経験していただきました。

■令和7年度当初予算事前協議



令和6年12月17日から19日の3日間にわたり、新年度当初予算（案）について、常任委員会ごとに執行部から主な事業・新規事業・拡充事業を中心に説明を受け、各委員から質疑を行いました。

また、予算を編成するうえでの要望も併せて行い、執行部において検討いただくこととなりました。

■議会だより編集委員会



令和7年1月15日に、編集委員による編集作業を行いました。

市民に読みやすく、わかりやすい紙面となるよう、印刷製本委託業者も交え、助言をいただきながら、議会だより発行の都度、会議を開催しています。

山武市議会に
是非越し
ください

議場内設備 がリニューアル!

議場音響設備の老朽化により、不具合が続いていた音声マイクなどを一新し、併せて、議案等の採決における議員ごとの賛否が明確になるよう、電子採決システムを導入するなど、令和6年第4回定例会から新たな機器での運用がスタートしました。

新しくなった議場で、議会を傍聴してみませんか?

モニター

視認性のよい55インチ液晶モニターを、議場内の議員席側・執行部席側に1台ずつ設置



マイク

議員席・執行部席ともに1人1台のマイクを設置
アームの部分が長く、起立による発言音声の明瞭性を確保



電子採決システム

マイク付属のボタンにより、賛成・反対の表決が可能
採決結果は自動集計のうえ、即時に議場内のモニターに表示
併せて、インターネット配信される映像にも表示



タッチパネルモニター

テロップの表示やカメラのコントロール、映像の切り替え、録音録画など、さまざまな操作を連動して行えるように



※この日程は予定であり、今後変更する
可能性があります。

3 / 18 (火)	3 / 12 (水)	3 / 11 (火)	3 / 5 (水)	3 / 4 (火)	3 / 3 (月)	2 / 28 (金)	2 / 27 (木)	2 / 26 (水)	2 / 19 (水)								
閉会	質疑・討論・採決	委員長報告	予算審査特別委員会	予算審査特別委員会	経済建設常任委員会	文教厚生常任委員会	総務常任委員会	委員会付託	議案質疑	委員会付託	議案の上程	提案理由の説明	一般質問	一般質問	一般質問	議案の说明	開会

令和7年

第1回定例会

編集後記



最近「生成AI」という言葉を耳にしませんか?

従来のAIは、既存の情報を識別・分析するのに対し、『生成』と名の付くのとおり、全く新しいものを自動的に作り出すことのできる人工知能技術です。文章作成、画像生成、音楽制作などを簡単な指示や条件を与えるだけで、膨大なデータを学習し、新しい回答や作品を生成してくれます。便利だと思えますが、映画『ターミネーター』のようにAIに支配されないか不安な私です…。



議会だより編集委員会

委員長 玉置美津恵
副委員長 鈴木健太郎
委員 市川 陽子
渡邊 聰
池田 久和

※次回は、5月発行予定です。